

三重県林業職員

仕事紹介

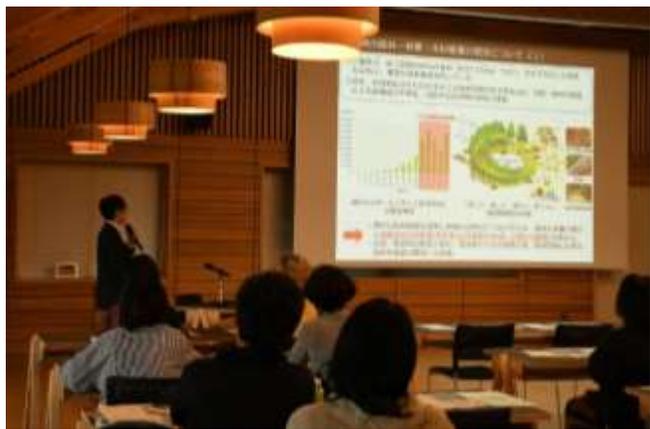
木材利用推進担当	・ ・ ・ ・ ・	2
スマート林業担当	・ ・ ・ ・ ・	3
林道担当	・ ・ ・ ・ ・	4
森林教育担当	・ ・ ・ ・ ・	5
林業普及担当	・ ・ ・ ・ ・	6
自然公園担当	・ ・ ・ ・ ・	7
アカデミー運営担当	・ ・ ・ ・ ・	8
研究担当	・ ・ ・ ・ ・	9, 10
治山担当	・ ・ ・ ・ ・	11, 12
造林担当	・ ・ ・ ・ ・	13
森林計画担当	・ ・ ・ ・ ・	14
緑化推進担当	・ ・ ・ ・ ・	15
林地開発・保安林担当	・ ・ ・ ・	16

三重県農林水産部

令和6年12月

●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。



木材利用推進担当

農林水産部 森林・林業経営課 木材利用推進班 主任 西さん

入庁9年目

○木材利用推進業務とは？

三重県産の木材を利用すれば、それだけ三重県の森林が元気になります。計画的に木を切って、利用し、新たに苗木を植えることで豊かな森林を維持できます。このようなサイクルを保つためには、私たちが積極的に木を利用することが重要です。

このため木材利用推進班では、三重県産材の利用促進に向けて、以下のような業務を行っています。

- ・三重県産材のPR活動等、利用促進に関する業務
- ・三重県内の建築物の木造・木質化に関する業務
- ・三重県産材の輸出促進に関する業務
- ・木質バイオマスの利用に関する業務

○具体的にはどんな仕事をしてるの？

三重県産材のPR活動等、利用促進に関する業務の一つとして、「三重の『木づかい宣言』事業者登録制度」を担当しています。「木づかい宣言」とは、三重県産材を積極的に利用しPRしていただける事業者を県が登録し、登録事業者の木づかいに関する情報発信等を行うなど、事業者の取組をバックアップする制度です。

その他には、建築士向け木造建築設計セミナーや、木材利用関連イベントの開催、首都圏等都市部への三重県産材PR活動といった業務を担当しています。

○現在の仕事のメリットは？

木材利用の業務は、メーカーや製造業、建築士の現場の第一線で活躍されている方々とお話しをする機会が多いため、木材利用の現状や課題を生々の声を聴きながら勉強することができます。

また私達行政は、直接物を作ることはできなくても、物を作る人達をサポートすることができます。木材利用に携わる人達をサポートする仕事、つまり三重県産材をPRする仕事は、森林の適切な管理につながる業務として、私達にしか出来ない仕事だと思っています。

○受験を考えている人にメッセージ！

新規採用者は、就職してから新しく学ぶ人がほとんどです。専門の仕事を学ぶための研修や、県職員としての一般社会マナーを学ぶ研修等、定期的に幅広い研修が開催されます。また、新規採用職員には、教育係として先輩が1名以上つきますので、分からないことがあったらすぐ聞くことができる等、新人の教育制度も手厚いと思います。

もし、三重の林業に少しでも興味があれば、木材利用推進班まで電話いただければ、疑問にお答えいたします。気軽にお問い合わせください。

年間スケジュールのイメージ

- 4月 木材関係団体との今年度事業の打ち合わせ
- 5月～7月 建築士向けセミナー 準備
- 8月～ 建築士向けセミナー 開催
- 11月～2月 来年度事業の計画作成
木材利用関連イベントの開催
- 3月 今年度事業のとりまとめ

※年間通して 木づかい宣言PR活動、登録書授与式の開催
県外への三重県産材PR活動

ある日の スケジュール

- 8：30 メールチェック
- 9：00 出張報告書 作成
- 10：00 木づかい宣言登録式 準備
- 11：00 木づかい宣言登録式 本番
- 13：00 木づかい宣言登録式
報告書作成
- 15：00 建築士向けセミナー 準備
- 17：00 メールチェック
- 17：15 退庁

●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。



スマート林業担当



農林水産部 森林・林業経営課 スマート林業推進班 主任 濱口 さん

入庁12年目

○スマート林業推進班の業務とは？

- 私が所属するスマート林業推進班では、
- ・林業担い手に関すること
 - ・林業労働安全衛生の推進に関すること
 - ・林業分野における福祉との連携推進に関すること
 - ・スマート林業の推進に関すること
(クラウド型の森林GIS(森林クラウド)の普及、航空レーザ測量による森林資源情報の管理・整備、みえスマート林業推進協議会の運営etc)などの業務を主に担当しています。

○現在の仕事のやりがい・苦勞は？

私が担当しているスマート林業にかかる業務は、次々と新たな技術が生まれ情報が更新されていくため、日々手探りで業務を進めています。非常に手間と時間がかかります。
そういった、大変な仕事ではありますが、同僚や市町の方、林業事業者の方、スマート林業に関する技術を扱う業者さんと議論しながら、少しでも役立つものになるようにと、自分なりに試行錯誤ができるところにやりがいを感じています。

○具体的にはどんな仕事をしてるの？

今年度、私はみえスマート林業推進協議会で開催する研修等にかかる業務を主に担当しています。
令和4年9月に発足したみえスマート林業推進協議会において、スマート林業に関する技術や効果など、先進的な知識を県内の林業関係者間で共有し、広く普及する目的で、各種研修会や先進事例の情報収集・発信を行っているところです。
また、今年度から新たに、ICT等の先端技術に精通したコア技能者(林業事業者の中から数名選定)の育成に関する業務を担当しています。

○受験を考えている人にメッセージ！

三重県林業職員は約150名で、森林・林業に関する幅広い業務を担っています。「森林を守ること、木材を活用することなど、森林・林業に関する仕事がしたい」という、同じ方向を向いた「仲間」が集まっており、とても働きやすい職場だと思います。
また、私が担当しているスマート林業に関する技術のような、新たな技術にも携わることもできますので、ぜひ、試験を受験していただき、一緒に働きましょう！

年間スケジュールのイメージ

- 随時対応 航空レーザ測量利用に関する問い合わせ
各種統計調査等の照会対応
- 5～6月 森林クラウド研修の開催
- 7月～9月 各種研修にかかる発注業務
- 10月～ コア技能者育成研修の開催
- 10～12月 次年度予算編成
- 2月 みえスマート林業推進協議会研修の開催
- 3月 各種業務委託の完成検査

ある日のスケジュール

- 8:30 メールチェック
- 9:30 コア技能者育成研修の講師との打ち合わせ (WEB)
- 12:00 昼食
- 13:00 スマート林業にかかるシンポジウム聴講 (WEB)
- 15:00 航空レーザ測量業務発注の審査・チェック
- 17:15 退庁

●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。

林道担当



現場で図面を囲み
打合せ中...



熊野農林事務所 森林・林業室
森林保全課 技師 齋藤 さん

入庁4年目

○林道を作る目的は？

一見、林道を作ることは、森林を切り開き、環境へ負荷をかける行為に思えますが、林道を利用して十分に成長した人工林を整備し、次世代の森林へ更新させることは健全な森林が持つ「多面的機能の発揮」につながります。

同時に、林道によって森林へのアクセスや木材の輸送効率が向上し、効率的な木材生産が可能となれば、産業としての林業振興につながります。

公共事業として、この第一段階の林道を整備することは、三重県の森林・林業を守るという大きな目的へつながっています。

○具体的にはどんな仕事をしているの？

林道事業は、県が施工する県営工事と、市町が施工する補助事業の大きく2つに分けられます。県営工事では下記のように業務を行っています。

〈主な流れ〉

- ①測量・設計業務の発注
→図面や数量計算を委託しています。
 - ②工事の積算・発注
→①のデータを基に、工事資料を作成します。
 - ③工事監督
支障木伐採、掘削・盛土、構造物・舗装等、節目ごとに工事現場を確認します。
- ⇒完成したら次の工事の発注準備へ.....

○現在の仕事のやりがいは？

図面をもとに林道が出来上がっていくことが目に見えるやりがいを感じます。

林道は、地質や地形、要領の改正等により、工事方法や構造物の形がその都度変わります。所属内でのアドバイスや議論、受注者との打合せを通じて、納得のいく工事を行えるよう情報を組み合わせていくことも楽しい点かもしれません。

林業に携わる方々から、使い勝手が良いと思ってもらえる林道を作ることができるようになることが現在の目標です。

○受験を考えている人にメッセージ！

林道業務だけに限らず、林業分野の仕事の良いところは、全く知らなくても業務が可能なこと。ある程度体系化された業務をもとに、入庁後に知識をつけ、自分の興味関心で深掘りができます。

自身は入庁するまで、工事の知識はさっぱりありませんでしたが、諸先輩方からの手厚い補助や、様々な研修により、少しずつ面白く業務をこなせるようになってきました。

森林に興味があれば、自分が面白いと思える業務にきっと出会えます。三重県の林業技師として一緒に働けることを楽しみにしています！

年間スケジュールのイメージ

- 4月～5月 測量・設計業務の発注、工事の設計・積算・監督、国への協議
- 6月～8月 林道工事の設計・積算、研究発表
- 8月～ 林道工事の監督業務
- 11月 来年度計画作成
- 12月 来年度計画県庁ヒアリング
- 2月～3月 林道工事の精算業務、完成検査等

ある日のスケジュール

- 8：30 メールチェック
- 9：00 工事現場での立会・打合せ
- 12：00 昼食
- 13：00 変更設計書・変更図面の作成
- 15：00 次年度工事の計画作成
- 17：15 退庁

●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。



林業研究所 普及・森林教育課 主幹兼課長代理 本田 さん

森林教育担当



入庁24年目

○森林教育業務とは？

「みえ森林教育ビジョン」が目標とする、森林と私たちの暮らし、経済がともに持続可能で豊かな社会づくりを目指し、森林や木、木材に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人づくりに取り組んでいます。

○具体的にはどんな仕事をしてるの？

- 森林教育を推進するための取組み
 - ・ みえ森林教育シンポジウムの開催
 - ・ 年代に応じた森林教育講座の開催
 - ・ 学校学習の中で活用できる「副読本」や「みえ森林教育ワークブック」の発行・配布
 - ・ 森林教育アドバイザーの派遣
- みえ森づくりサポートセンターの運営
 - ・ 指導者や教職員等を対象とした講座の開催
 - ・ 登録制度など、指導者等への活動支援
 - ・ 出前授業など、森林教育活動の支援
 - ・ ミエトイ・キャラバンなどのイベント出展
- 森林教育施設の整備
 - ・ 三重県民の森みえ森林教育ステーションの運営
 - ・ みえ森林教育ステーションの認定

○現在の仕事のやりがいとは？

森林と人のくらしや社会活動が、よりよい関係にある未来を想像して、どのような森林教育が効果的かを考えていく、とても前向きな仕事と感じています。また、林業分野にとどまらず、教育や福祉関係者など、様々な分野・年代の方々と一緒に仕事ができることにやりがいを感じています。

○受験を考えている人にメッセージ！

私が入庁した当時は、女性の林業職員の数も少なく、山地災害現場の測量調査などでは、体力面で男性職員についていけず悩んだこともありましたが、様々な業務を担当していく中で、自分の強みを活かした働き方ができるようになってきたと感じています。

また、子どもの成長に合わせて、産休や育休、早出・遅出などの制度を活用することができ、私もこれらの制度を活用し、子育てをしながら仕事を続けてきました。

最近では、男性も育休を取り、子どもとの時間を大切にしている姿を見かけますので、男女問わず、ライフとワークを充実させながら働ける職場だと思います。

年間スケジュールのイメージ

- 4～8月・みえの森フォトコンテスト募集
 - ・ みえ森林教育アドバイザー派遣実施個所決定
 - ・ 副読本及びみえ森林ワークブックの発行・配布
- 9～12月・出前授業の実施
 - ・ みえの森フォトコンテスト入賞作品決定・展示
 - ・ 各種講座の開催
- 1～3月・みえ森林教育シンポジウムの開催
 - ・ みえ森林教育プログラムの発行・配布
- (通年)・みえ森づくりサポートセンターの運営
 - ・ みえ森林教育ステーション認定・運営支援

ある日のスケジュール

- (遅出(60分)の勤務)
- 9:30 登庁・メールチェック
 - 10:00 所属内で情報共有・打合せ
 - 11:00 みえ森づくりサポートセンターと打合せ
 - 12:00 昼食
 - 13:00 小学校で出前授業のお手伝い
 - 17:00 報告書の作成
 - 18:15 退庁

●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。

林業普及担当



四日市農林事務所 森林・林業室
林業振興課 主任 糸魚川 さん

入庁9年目

○林業普及業務とは？

森林の有する多面的機能の持続的な発揮と、林業の持続的かつ健全な発展のため、林業事業者や森林所有者等に対して、地域の実情に応じた以下のような活動を行っています。

- 1) 林業に関する技術や知識の普及
- 2) 森林の施業に関する指導
- 3) 地域全体での森林整備や木材利用の促進
- 4) 市町の森林・林業関係部署の支援
- 5) 研究機関と協力した研究成果等の実証・指導
- 6) 森林ボランティアや学校教育における森林教育の指導者等の育成

○現在の仕事で嬉しかったことは？

林業普及業務では、林業関係者や森林所有者から幅広い相談を受け付けます。その相談の中で生まれた課題を克服する際に、新しい経験をすることができ、相手との信頼関係を深めていくことができます。信頼関係を築いた相手は心強い相談役になってくれます。担当地域が変わってからも度々連絡をいただけるので、頑張っただけよかったなと思います。

また、自分は森に関わりたいと思う人が増えてほしいと思って仕事をしているので、自分の活動で三重県の森林を訪れる人が増えてくれると嬉しいです。

○具体的にはどんな仕事をしてるの？

地域の森林整備が着実に実施されるよう、市町、林業事業者、森林施業に意欲のある森林所有者等の関係者に対し、技術や制度の説明を行う等の支援を行います。また、関係者から様々な相談を受けますので、研究機関等と連携し課題解決に取り組みます。林業に関わる人を増やす取組として、林業に就業されている方や林業に関心がある方に対して、研修会や職場体験を企画運営します。

そのほか、林業関係書籍の原稿作成や、福祉等の他分野と森林・林業の連携についても行っています。

○受験を考えている人にメッセージ！

多くの人は、森林は大切なものと感じる一方で、その大切なものをどう守っていくのか、どう活かしていくのかを自分事として捉えている人は少ないと思います。しかし、これまで森林を守り活かしてきた先輩方、現在の森づくりを担う熱心な担い手の方達が三重県にはまだまだいらっしゃいます。そのような方達、そしてこれから森林に触れる方達と協力しながら、身近にあるけれど少し遠い存在になっている木や森を守り活かしていくため、一緒に頑張りましょう！

年間スケジュールのイメージ

- 4月 普及指導事業の年間活動計画の作成
- 4月～ 各種研修・講習・現地見学会等への参加
- 5月～ 各種研修・講習の講師
- 年間活動計画に沿った普及指導事業
 - ・市町、事業者の支援
 - ・新規就業者の確保や育成
 - ・木材利用の推進 など
- 3月 林業普及活動発表会

ある日のスケジュール

- 8:30 メールチェック、外出準備
- 9:00 市町担当者と森林の巡視
- 12:00 昼食
- 13:00 林業事業者との打合せ
- 15:00 帰庁
- 林業関係冊子の原稿作成
- 17:00 報告書作成
- 17:15 退庁

●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。



農林水産部 みどり共生推進課
自然公園班 主任 川越 さん

○自然公園業務とは？

自然公園法に基づき指定された自然公園や、東海自然歩道・近畿自然歩道（合わせて自然公園等）において、以下の業務を行います。

- ・ 国定公園、県立自然公園における許認可
- ・ 自然公園等の施設の整備・管理
- ・ 自然公園等の普及・啓発活動
- ・ 自然公園等の施設を活用したイベントの開催
- ・ 国定公園・国定公園協会の運営

- そのほか、県有施設の管理も行っています。
- ・ 三重県民の森・三重県上野森林公園の施設整備
 - ・ 県有地における使用許可

○具体的にはどんな仕事をしているの？

- ・ 自然公園施設の維持管理
日常的な自然公園内の施設（園地や歩道等）のパトロールや点検・清掃を市町等へ委託します。施設に何か異常があった時は委託先から報告が入るため、その都度指示をして、必要があれば応急修繕を行います。
- ・ 自然公園施設の整備
関係団体から施設整備の要望を聞き取り、必要性や環境への影響などについて打合せを行いながら、整備計画を策定環境省に予算要求し、整備工事を行います。
- ・ 自然公園内でのイベントの実施
関係団体と連携し、自然公園の活用や普及啓発を目的としたイベント等を実施します。

年間スケジュールのイメージ

- 4月 自然公園施設の維持管理委託契約
- 9月 次年度の予算書の作成
- 3月 自然公園施設整備実績報告

- 7月 自然公園施設整備の要望照会・とりまとめ
- 12月 自然公園施設整備計画策定・変更
- 通年 維持管理に伴う現地調査

自然公園担当



大杉谷登山歩道のパトロール

入庁11年目

○現在の仕事のやりがいは？

三重県には、伊勢志摩国立公園、吉野熊野国立公園、鈴鹿国定公園、室生赤目青山国定公園などの自然公園や、古くから歴史文化と共に歩まれてきた東海・近畿自然歩道があります。

法に基づき、自然・景観に配慮して適切に環境整備をすれば、この素晴らしい自然環境を多くの方に楽しんで頂くことが出来ます。

限られた予算の中でどうすれば効果的な整備が出来るのかと日々頭を悩ませておりますが、環境省や市町担当者、さらには地元の方々とも話し合いながら一番良い形を模索し、完成した歩道や休憩場所などを皆様に喜んで使って頂いている様子を見ると、ほっとした気持ちになります。

○受験を考えている人にメッセージ！

自然公園班では、秘境の登山歩道をパトロールしたり、船に乗って離島へ調査に行ったり、山頂の高原で大作業をしたりと、自然環境に囲まれて動き回っています。

是非一緒にアクティブに働きましょう。

ある日のスケジュール

- 8:30 メールチェック
- 9:00 東海自然歩道の修繕箇所の現地確認
- 12:00 昼食
- 14:00 市町と次年度の工事に関する打合せ
- 16:00 現地調査、打合せ内容のとりまとめ
- 17:15 退庁

●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。



林業研究所 アカデミー運営課 課長代理 伊藤 さん

○みえ森林・林業アカデミーとは？

新たな視点や多様な経営感覚を備え、森林・林業・木材産業さらには地域社会の核となる人材を育成するため、幅広い分野における全国のトップランナーを講師に迎えて講座を行っている学校です。

講座日数は、働いている方でも学びやすいように、月に2日程度、年に12～21日程度としています。

三重県の木材がふんだんに使われ、木の香る居心地のよいアカデミー棟には、多彩なバックボーンを持った人々が集まり、講師や受講生どうしの交流を深めながら、楽しく熱心に学んでいただいています。

○具体的にはどんな仕事をしてるの？

アカデミーの企画・運営に関すること全般を担当しています。具体的には、講座の開催にあたり、講師と講義内容に関する打合せをしたり、送迎や昼食の手配、講師料の支払いなど様々な事務を行います。

また、受講生が快適に学んでいただけるよう気を配り、講座が進んでいく中で生じる悩み事の相談に乗ったりもしています。

その他にも、アカデミーを多くの方に知っていただけるよう、様々なメディアやイベントでPRを行ったり、団体や企業を訪問して説明を行ったりもします。

年間スケジュールのイメージ

- 4月 通年 アカデミー入講式
アカデミー講座の企画・調整・運営
(担当する講座数：年間21回)
アカデミーのPR、環境整備
- 9月～ 次年度カリキュラムの検討
- 10月 アカデミー運営会議
- 12月 次年度講師・日程調整
受講生募集要項の策定
- 1月～2月 受講生の募集
- 3月 受講生の選考・決定

アカデミー運営担当



入庁20年目

○現在の仕事のやりがいは？

アカデミーがお迎えする講師は60名を超えるので、講義日程の調整や、円滑な講座運営を行うことは大変ですがやりがいがあります。全国で活躍される著名な方も多く、直接お話できる機会はとても貴重で勉強になります。

また、受講生の皆さんもとても熱心です。新しいことにチャレンジしよう、林業や地域を元気にしようというポジティブなオーラがみなぎっている受講生と、明るい林業に向けて一緒に考えることはとてもやりがいを感じます。

○受験を考えている人にメッセージ！

林業職員は、林業・木材産業の振興や、治山・林道といった基盤整備、自然環境の保全、森林教育の推進など、幅広い分野の業務に携わります。それにアカデミーでの業務のように県内外の多くの方との出会いがあり、いつも新鮮な気持ちで働くことができます。

三重県は、森林資源、特に人工林が豊富な県ですが、その利用や保全には様々な課題がみられます。そのような課題に、これまでにない新しい発想や様々なアイデアを持って、積極的にチャレンジしていただけたらと思います。

ある日の スケジュール

- 8：30 講座会場設営・受付
- 9：00 オリエンテーション
- 9：15 講座開始・進行
- 12：00 講師とのランチミーティング
- 13：00 講座進行
- 16：00 講座ふりかえり・
受講生とのディスカッション
- 17：00 講座終了・片付け
- 17：15 退庁

●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。



林業研究所 研究課 主査研究員 海津 さん



研究担当

入庁19年目

○林業研究所ではどんな研究をしているの？

三重県林業研究所では、森林や林業に関する幅広い研究を行っています。

また、林業研究所内には、令和元年度からみえ森林・林業アカデミーを運営するアカデミー運営課が、令和3年度からは、林業普及指導にかかる業務や森林教育の普及啓発を行う普及・森林教育課が加わり、連携して業務を進めています。

○具体的にはどんな仕事をしているの？

森林の手入れ不足や造林未済地といった問題を解決するためには、林業の採算性、安全性を向上し、意欲的に森林整備がされる必要があります。私が担当しているのは、林業の作業効率やシステムに着目した研究でそれらに貢献する森林利用分野です。

近年は、素材生産作業時の作業日報記録に使えるツールを開発したり、造林後の見回り労力の省力化に関する研究をしています。日々の業務は、現地調査により伐採搬出作業現場や植栽地のデータを集めて、解析し、最適な作業方法を検証しています。そのためには、既存の研究などを調べて、どういった調査が必要か検討することも重要となります。

○現在の仕事のやりがいは？

林業研究所で実施する研究は、毎年地域からの要望を集約し課題を決定しており、地域の課題解決のための研究に取り組んでいるということがやりがいとなります。私は研究職になってまだ年月が経っておらず、まだ成果が現場に反映されたことはありませんが、これからも地域からの要望や最新の技術情報を収集し、研究成果を現場に還元していきたいと考えています。

○受験を考えている人にメッセージ！

森林・林業には、前述したような様々な課題があります。そうした課題を解決して、より良い地域や森林にしていくためには、民間事業者やボランティア、様々な方々の力が必要で、行政だからできることもあります。林業職員は、三重県を森林・林業分野からよりよくしていくためのチームです。職場内では、上司や同僚と相談しやすい雰囲気、わからないことなどは相談しながら進めていきます。

三重県や森林のため仕事がしたいと考えている方、ぜひ一緒に働きましょう。

年間スケジュールのイメージ

- 4月～3月 文献調査、現地調査、データ解析
(現地調査時期は研究課題により異なります。)
- 6月・8月 アカデミー講座などの講師
- 9月～10月 次年度課題準備
- 10月 学会発表
- 2月～3月 研究成果マニュアルなどの公表
- 3月 学会発表

ある日のスケジュール

- 8:00 現地調査準備・移動
 - 9:15 現地調査 (時間観測調査)
 - 12:00 昼食
 - 13:00 現地調査 (毎木調査)
 - 15:30 帰庁、片付け、データ整理
 - 16:45 退庁
- 勤務時間が8時から16時45分となる
早出勤務制度を利用しています。

●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。



研究担当

入庁8年目

林業研究所 研究課 主任研究員 川島 さん

○林業研究所ではどんな研究をしているの？

林業研究所では、森林・林業に関わる色んな研究を行っています。研究分野としては、林業用苗木や種子の生産、森林の育成と利用、森林が有する防災・減災機能、森林・樹木の病虫獣害からの保護、木材加工技術、きのこ生産技術等があります。研究員は6名と少数ですが、それぞれの研究員が各分野の研究に熱心に取り組んでいます。研究テーマは現場や行政からのニーズを把握したうえで、重要度、緊急度、実現可能性等を考慮し決めていきます。また、研究で培った知見を活かし、県内企業や県民の方からの依頼試験や技術相談の対応等を行っています。

○具体的にはどんな仕事をしているの？

私は「森林・樹木の病虫獣害からの保護」の分野の研究を担当しており、今は主にシカによる森林被害防除に関する研究を行っています。全国的にシカの数や分布域が増加しており、何の対策もなく苗木を植えてもシカに食べられて森にならず、林業経営上の損失になるといった問題や、森林の土砂流出防止や水源涵養機能が低下するといった問題が起きています。これらの問題に対処するために、県内各地の森林を巡って被害調査を行ったり、苗木を保護するための技術開発を行ったり、シカ捕獲技術の開発などを行ったりしています。私自身、狩猟免許を取得して実際にシカ捕獲試験も行っています。

○現在の仕事のやりがいは？

「課題を見つけてその解決に向けて新たなチャレンジをする」ということが大きなやりがいとなります。今までやったことのないことにチャレンジをすることが好きな人には向いている仕事だと思います。

また、野外調査は大変な時もありますが、自然の中で仕事をするのが好きな自分にはぴったりだと感じています。

研究によっては林業事業体や地域住民の方々との関わる機会も多いです。研究成果や技術的な支援により、現場で働く人や地域の方たちの役に立ったと実感した時には大きなやりがいを感じます。

○受験を考えている人にメッセージ！

ひと口に林業職といっても、行政、普及、治山工事、研究など、色々な仕事があります。仕事を通じて経験を積み、色々な人と関わりながら積極的に知識を習得していけば、山のことがトータルで分かるような人材にステップアップできると思います。

また、福利厚生面も充実していると思います。特に、子育てをしていくうえでは、男性の育休取得も推奨されていますし、妻や子どもが体調を崩した際に取得できる休暇制度もあります。家族との生活を充実させながら、仕事に取り組める制度は整っていると思います。ぜひ一緒に働きましょう！

年間スケジュールのイメージ

- 4月～5月 必要物品の購入、調査の事前準備、許可申請等の事務作業、外部機関との打合せ
- 5月～（通年）現地調査（造林地の被害調査、捕獲実証試験、シカ密度推定調査等）
- 8～9月 データ解析、学会発表
- 12月～1月 データ解析、論文執筆
- 2月～3月 成果とりまとめ、報告書作成、次年度計画作成

※獣害や病害虫に関する講演依頼や技術相談があれば随時対応

ある日のスケジュール

- 8：30 調査地へ出発
- 9：30 調査開始
- 12：00 昼食
- 15：30 調査終了
- 16：30 帰着、片付け、翌日調査準備
- 17：15 退庁

●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。



治山担当



松阪農林事務所 森林・林業室 森林保全1課 技師 後藤 さん

入庁2年目

○どんな仕事をしているの？

私が所属している森林保全1課は主に、水源のかん養や土砂災害の防止、生物多様性の保全等の「森林の公益的機能」が発揮されるよう治山事業を行っています。私は、主に治山工事の設計・積算や現場監督をしています。

設計・積算業務では設計基準に沿って、現場状況にあった最も経済的な工法を考えています。監督業務では、現場状況の確認や工事の進捗確認、受注者から提出される書類を確認します。工事の施工に支障をきたす事象があれば、施工業者と協議を行い、完成に向け対策を講じ指示していきます。

○職場の雰囲気は？

松阪農林事務所の森林・林業室には3つの課があり、20人の職員が働いています。とても明るく元気な人や、穏やかで優しい人、真面目でコツコツ仕事をする人など、個性豊かな職場です。

普段は落ち着いた雰囲気です、それぞれ集中して自分の仕事に取り組んでいますが、時には雑談や冗談を言い合うなどとても明るい雰囲気です。

日頃から、会話することが多いため、サポートしたり、何か困ったことがあれば、すぐに相談できる環境です。

○現在の仕事のやりがいは？

自分が担当した工事が完成し、実際に形になるとすぐ達成感がありやりがいがあります。それと同時に、無事に完成した安心感や嬉しさもあります。

また、治山事業で整備された施設は、山腹斜面や溪流等を安定させ、長い時間をかけて多面的機能が発揮される森林を造成していきます。業務の中で、過去に施工した治山施設の点検をしており、しっかりと目的を達成している施設を見る機会があります。短期間で結果が見えないこともありますが、今の仕事が健全な森林を作っていくことにつながることにやりがいを感じます。

○受験を考えている人にメッセージ！

林業職は、公共工事から林業普及など幅広い分野があるため、様々な経験をすることが可能です。

学生の時に専攻した分野とは全く違い、わからないことばかりでも、上司や先輩がわからないことを教えてくれたり、一緒に考えてくれたり、サポートしてくれます。

山を守りたい、林業の振興をしたいなど森林・林業分野の仕事に興味があるという方や具体的にやりたい仕事内容がなくても少しでも関心がある方は、三重県林業職員を受験してみてください。

年間スケジュールのイメージ

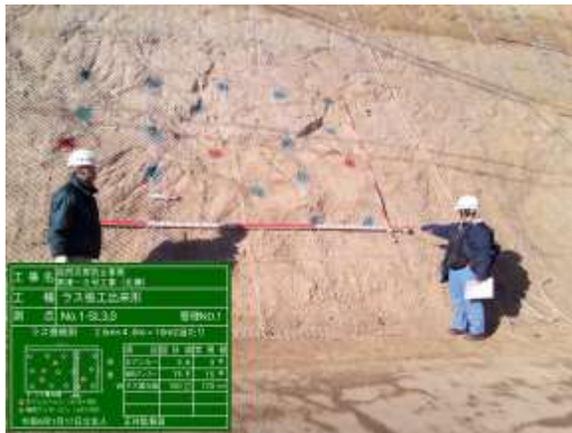
- 4月～5月 治山工事の測量・設計委託業務の設計・積算・監督
- 6月～7月 治山工事の設計・積算
- 8月～ 治山工事の監督業務
- 11月～2月 治山事業の来年度計画箇所の測量・計画作成
- 2月～3月 治山工事の完成検査

ある日のスケジュール

- 8:30 メールチェック
- 9:00 事業計画箇所の現地測量
- 12:00 昼食・休憩
- 13:00 事業計画書・設計書等の作成
- 15:00 工事関係業者との打合せ
- 17:15 退庁

●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。



治山担当



入庁3年目

津農林水産事務所 森林・林業室
森林保全課 技師 正井 さん

○治山事業とは？

治山事業とは、保安林で行う事業であり、森林が持つ機能（水源かん養、土砂の流出・崩壊の防備など）を高め、森林が育つ基盤となる林地を保全するための施設の整備を行います。
台風等による自然災害により山崩れを起こしている森林の復旧や、災害を受ける恐れのある森林に予防工事を行い、未然に防ぐものもあります。
他にも、森林の機能が低下した保安林を健全な森林に育てるために、本数調整伐を行う保安林整備もあります。治山事業では、間伐とは呼ばず本数調整伐と言います。

○現在の仕事のやりがいは？

自分の担当した工事が完成した時には、着手前の状況を知っているため達成感がすごくあり、やりがいを感じられます。特に、初めて担当した谷止工が完成した時は、完成した安心と嬉しさでいっぱいになりました。
入庁時、公共工事が全く分からず、専門用語や施工方法等たくさん学ぶことができました。また、先輩職員の担当する現場に連れていただいた時には、現場で学ぶことがたくさんありました。現場では状況変化が多々あるため、対応していく必要があり、対応方法を考えるのもやりがいの一つです。

○具体的にはどんな仕事をしてるの？

私が携わっている業務は、主に国庫補助事業の保安林総合改良事業と県単独事業である自然災害防止事業の設計監督業務であり、事業実施の際は津市役所と連絡を取り合い、連携して進めています。
また、受注者より提出された書類の確認や現地でも適切に施工されているか確認します。現場状況が変化した際には、受注者と協議し現場にあった施工を指示します。
他にも、来年度計画箇所の現地確認を行います。測量・設計し、計画書を作成します。

○受験を考えている人にメッセージ！

林業職員は幅広い分野を担っており、まだまだ分からないことや学ぶことがたくさんあります。分からないことは上司や先輩職員から教えてもらっています。土木工事は正解が一つではないので、相談し一緒に悩み、考えて解決していきます。
林業や森林について学んだ専門知識を活かせる場でもあり、そして、より深く学べる仕事だと思いません。
入庁したみなさまと一緒に仕事ができることを楽しみにしています！

年間スケジュールのイメージ

- 4月～5月 治山工事の測量・設計委託業務の設計・積算・監督
- 6月～7月 治山工事の設計・積算
- 8月～ 治山工事の監督業務
- 11月～2月 治山事業の来年度計画箇所の測量・計画作成
- 2月～3月 治山工事の完成検査

ある日のスケジュール

- 8：30 メールチェック
- 9：00 事業計画箇所の現地測量
- 12：00 昼食・休憩
- 13：00 事業計画書・設計書等の作成
- 15：00 工事関係業者との打合せ
- 17：15 退庁

●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。

造林担当



尾鷲農林水産事務所 森林・林業室 林業振興課 技師 榊原 さん

入庁4年目

○造林事業とは？

造林事業とは、森林所有者や林業事業者などが行う森林の施業を支援する事業です

森林は生物多様性の保全や土砂災害の防止、水源のかん養、地球温暖化の防止、木材などの林産物の供給等の多面的機能を有しており、広く皆が恩恵を受けています。このような機能を発揮するためには、森林が健全な状態を保っていることが必要であることから、森林を健全に育成するために行った施業に対して経費の一部を補助します。

対象となる施業は、植栽、下刈り、枝打ち、間伐、森林作業道、獣害防護柵設置などです。

○具体的にはどんな仕事をしてるの？

森林組合や林業を行っている事業者から、施業が終わると造林補助金の交付申請書が提出されるので、その内容について検査を行い、合格した箇所にかかる補助金の支払いを行います。

検査には書類検査と現地検査があり、書類検査は現場の作業記録や契約書などがきちんと整理されているか、各種計画と合致しているかなどを確認します。現地検査は実際に施業した現場に行き、植栽本数や間伐率、作業道の道幅などが申請どおりできているかを確認します。

尾鷲地域はクマの目撃情報が多いので、現場に行くときはクマ鈴は必須です。

○現在の仕事のやりがいは？

三重県は古くから林業の盛んな地域ですが、その中でも私が働く尾鷲地域は、密植と多間伐で良質な木材を育てる「尾鷲ヒノキ林業」が有名で、日本農業遺産にも認定されています。業務を通じて、森林所有者さんや素材生産事業者さん、木材産業事業者さんの話を聞く機会が多いですが、地域の皆さんがヒノキの価値を高める技術に誇りを持っていることを感じ、そのような伝統のある施業の支援をできることにやりがいを感じています。

その一方で、木材価格の低迷等から、なるべくコストをかけずに効率的に森林整備を進めることの必要性も感じており、どんな森林を目指して林業経営をしているのか、それぞれの事業者さんに寄り添った支援をしていくことを心掛けています。

あと、鳥が好きなので、現場で鳥を見れるのが嬉しいです。

○受験を考えている人にメッセージ！

林業というと、とにかく現場がきつい、つらい、みたいなイメージがありますが、苗木の運搬に大型ドローンを使ったり、遠隔操作で木の伐採を行うなど、最近はスマート化が進んでいるところもあります。是非、一緒に三重のスマート林業に取り組みしましょう。

年間スケジュールのイメージ

- 4月 事業者への補助金額の内示
- 6月 会議・打合せ
- 7月～8月 前年度の実績まとめ
- 9月～11月 調査、次年度の補助金要望額取りまとめ

- 年間通して
 - ・ 事業者からの交付申請
 - ・ 完了検査の実施
 - ・ 交付決定および額の確定

ある日のスケジュール

- 8：30 事務所出発
- 9：00 造林検査（書類検査）
- 10：00 造林検査（現地検査）
現地1～2か所
- 12：00 昼食
- 13：00 造林検査（現地検査）
現地1～2か所
- 16：30 帰庁
- 17：15 退庁

●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。



森林計画担当



農林水産部 森林・林業経営課
森林計画班 技師 平井 さん

入庁3年目

○森林計画班の業務とは？

私が所属する森林計画班では、

- ・地域の特性に応じた森林整備及び保全の目標などを定めた地域森林計画の樹立や変更
- ・三重県の森林・林業に関する施策の中長期的な方向などを示した「三重の森林づくり基本計画」の策定と進捗管理
- ・森林経営管理制度や森林環境譲与税に関する業務を主に担当しています。

また、森林・林業分野内の企画調整（分野内のまとめ役）も森林計画班で担っています。

○現在の仕事のやりがい・苦労は？

予算のとりまとめに加え、企画調整業務もあるため、期限付きの依頼メールが大量にきます。私の昨年度の配属は治山関係だったので、初めてのことが多く、数も多いため、そのメール対応に慣れるまで苦労しました。

また、明確な答えがない仕事もしばしばあるので、どうするのがよいか頭を悩ませてます。

業務量や初めてのことが多い分、学ぶことも多く、知識や経験の取得を実感した際や、来年度の予算書が完成した際は達成感とやりがいを感じることが出来ます。

○具体的にはどんな仕事をしてるの？

- ・森林・林業経営課の予算のとりまとめ農林水産財務課（農林水産部のまとめ役）から来る予算等の調査依頼に対して、担当者たちに照会をかけその回答をとりまとめます。
- ・三重県森林審議会の運営
地域森林計画の樹立・変更や「三重の森林づくり基本計画」の策定をする際は、審議会で有識者である委員に諮る必要があります。その審議会の会場設営や委員の窓口、資料の作成をしています。
- ・そのほか、地域森林計画や森林経営計画も担当しています。

○受験を考えている人にメッセージ！

森林・林業分野の業務は、治山工事等のハード事業から森林教育等のソフト事業まで幅広くあります。学校で専攻していた内容と全く異なる業務に就くのではないかと不安に思うこともあると思いますが、初めてのことで周りの先輩方に教わったり、自身でも学んでいけば、案外何とかなります。

私自身まだまだ経験や知識不足で、どちらかといえば何とかしてもらっていることが多いですが、皆様が入庁するまでに少しでも頼れる先輩になれるよう精進し、ともに働けることを楽しみにしています。

年間スケジュールのイメージ

- 随時対応 森林法に関する問い合わせ
森林に関する問い合わせ
各種予算、決算、統計調査等の照会対応
担当者説明会、地域林政アドバイザー講師
- 5月 大規模臨時的経費等の要望調査
- 6月～ 12月補正予算編成、森林審議会
- 8月～ 次年度予算編成
- 10月～ 1・2月補正予算編成、森林審議会
- 12月～ 最終補正予算編成
- 1月～

ある日のスケジュール

- 8：30 メールチェック
- 9：00 調査依頼対応
- 12：00 昼食
- 13：00 森林に関する問い合わせ対応
- 15：00 調査依頼対応
- 17：15 退庁

●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。



緑化推進担当



農林水産部 みどり共生推進課 みどり推進班 技師 上村 さん

入庁2年目

○緑化推進担当の業務とは？

私が担当している緑化推進とは、“県民の皆さんと一緒に取り組む森林づくり”を意味しています。三重県の豊かな森林を守り育てていくためには、林業従事者だけでなく、多くの県民の方に森林づくりに参加してもらうことが大切です。そのために、例えば、社会貢献活動として森林づくりを検討する企業と森林所有者とのマッチング支援や、学生を対象とした緑化に関するポスターコンクールの開催といった取組を行っています。また、県民の皆さんからいただいている「みえ森と緑の県民税」の普及啓発も私の仕事です。

○現在の仕事のやりがい・苦勞は？

段取りがうまくできなかった時の責任と不安感は大きいですし、明確な正解が無い仕事がほとんどのため、考えることが多いのも大変な部分です。逆に言えば、自身の考えや得意なことを取り入れ、自分で正解を作ることもできます。自分の創意工夫が形になって事業が成功したときの達成感はこの仕事でないと味わうことができないと思います。また、企業、市町、関係機関など様々な方々と一緒に仕事ができるのも大きなやりがいを感じています。

○具体的にはどんな仕事をしているの？

普及啓発イベントの段取りやグッズの作成、県民の方からの相談対応が主な仕事です。例えば、毎年春に行う「緑の募金」街頭キャンペーンでは、どうすれば募金がより集まるかを考えながら、場所・日程・参加者の調整を行います。また、みえ森と緑の県民税普及啓発のためのチラシやグッズを発注して、各市町などに配布しています。森林づくりを検討している企業から問い合わせがあった際には、企業のニーズをしっかりと聞き取って、活動ができる森林の探索を手配しています。

○受験を考えている人にメッセージ！

森林・林業の仕事は緑化推進から治山事業まで幅広い分野を扱うので、様々なことを経験できます。そして、同じ森林・林業に携わる人が集まるので、みんなすぐに打ち解け、楽しい雰囲気の仕事ができます。少しでも迷ったらぜひ受験してみてください。三重県の林業職員として一緒に働けるのを楽しみにしています！

年間スケジュールのイメージ

- 随時対応 企業の森に関する問い合わせ
水源条例に関する問い合わせ
緑化関係表彰・コンクール・苗木寄贈事業の照会
- 4月 緑の募金運動
- 5月～ 5月～10月 みえ森と緑の県民税普及啓発物品の発注業務
- 10～11月 緑化ポスターコンクール作品募集・審査・表彰
次年度予算編成
- 2～3月 みえ森と緑の県民税事業成果発表会運営
緑の募金運動準備

ある日のスケジュール

- 8：30 メールチェック
- 10：00 啓発物品発注先業者との打ち合わせ
- 12：00 昼食
- 13：00 苗木寄贈事業における贈呈式の打合せ資料作成
- 15：00 班内打合せ
- 17：15 退庁

●三重県林業職員の仕事紹介

※各職員の所属等、掲載内容については、令和6年度時点のものとなります。



林地開発・保安林担当



農林水産部 治山林道課
森林管理班 主査 石川 さん

入庁20年目

○森林管理班の業務とは？

私が所属する森林管理班では、森林法に基づいて保安林制度と林地開発制度の許可業務等を行っています。

- ・保安林業務は森林の公益的機能の維持増進のため、保安林の指定・解除、伐採や土地の改変等の申請書を審査し、許可処分等を行います。
- ・林地開発業務は、森林の土地の利用が適切に行われるよう民有林内で行われる一定面積以上の開発行為について、許可申請書を審査し、許可処分を行います。

○現在の仕事のやりがい・苦労は？

森林を切り開いて開発する行為に、負のイメージがあるかもしれませんが、森林やその土地にも所有者がいて、その所有権を過剰に規制することはできません。事業者を指導するには、森林法や林地開発制度の趣旨を正しく理解することが不可欠で、時には耳慣れない法律用語に苦労することもあります。

大変な仕事ではありますが、根気強く事業者を指導して適切に開発行為が完了されたときは、やりがいを感じます。

○具体的にはどんな仕事をしてるの？

私は林地開発許可制度の業務を担当しています。森林の有する公益的機能及び経済的機能が阻害されないよう林地開発制度の適正な運用に努めています。

具体的には、開発に必要な防災施設の構造や設計計算、配置等、許可申請書や届出書の内容が許可基準を満たすものか審査したり、県内各地の開発行為地に出かけて、現地確認や事業者への指導を行ったりしています。また、違反行為を指導するために弁護士に関係法令の解釈を相談する等、幅広い業務内容となっています。

○受験を考えている人にメッセージ！

森林は多面的な機能を持っており、その機能の多面性に合わせて林業職員の業務内容も多様です。林業職員になると、人事異動によって数年単位でいろんな業務に携わることになります。このいろんな業務で得た知見は、森林の在り方を偏りなく総合的に判断するために、将来、必ず役に立ちます。

私は学んだことを生かしたいと思い、業務の内容や意味がよくわからないまま林業職員になりました(笑)。20年働いた結果、林業職員でよかったと思います。働いてみて初めてわかるやりがい・適性もあると思います。まずは、三重県を受験してみてください！

年間スケジュールのイメージ

●随時対応

- ・保安林・林地開発に関する相談対応
- ・林地開発行為の現地確認
- ・保安林の調書、林地開発申請書の審査
- ・森林審議会保全部会の開催(2・5・8・11月)

●4月

- ・前年度許可実績等取りまとめ

●4・5月

- ・林地開発許可制度新任者研修／実務研修の講師

●8月・12月

- ・森林審議会での林地開発許可案件報告

●8・11月

- ・林地開発許可関係都道府県ブロック会議出席

●9～10月

- ・次年度予算編成

ある日のスケジュール

- 8:30 メールチェック・スケジュール確認
- 9:30 班ミーティング
- 10:00 林地開発申請書の審査・申請書の補正指導
- 12:00 昼食
- 13:00 開発事業者からの相談対応
- 15:00 相談記録の作成・情報共有
- 17:15 退庁